

令和6年度 公共施設の未来を考えるワークショップ 第5回 記録【高津区】

概要	
日時	令和6年11月17日（日）14:00-17:00
場所	高津区役所5階第1・第2会議室
参加者数	18名
検討エリア	上作延エリア 梶ヶ谷エリア 溝口エリア（施設数が多いため、2グループに分かれて検討）



【上作延エリア】

参加していないエリアの成果を共有し、感想を出し合おう

エリアの将来像への感想

○健康づくりをモチベーションに坂を活用できると良い

- ・坂のふもとと、上がったところに、貸自転車があると良い
- ・リフトで楽しく移動できると良い
- ・ものすごい坂で行く気がしなくなるのでのぼった先に行く目的があると良い

○都内など、広い地域から農家のイベントに来られると良い

- ・駅からバスに乗って来られると良い

○“陸の孤島”という印象

- ・公共交通機関が少ない

「起点施設にあったらいいと思う機能やニーズ」についての感想

○夜防災キャンプのアイデアいいね！実は、上作延、下作延の町会が連合で、小学校で夜キャンプをやっている

- ・テント 50 張りくらい備蓄がある
- ・近くで採れた野菜を使ってカレーを作ったりしても楽しそう

○老人いこいの家は高齢者に限らず、誰でも行って良い場所として使えと良い

- ・誰でも行ってよい場所として認知されると良い

○老人いこいの家の駐車場、駐輪場は多めにあると行きやすい

- ・駐車場も多くあると良い

○老人いこいの家で習い事などができて、お母さん同士の交流ができると良い

- ・お母さんたちの交流もできると良い

○子どもと高齢者の交流イベントは予算的に難しい現状がある

- ・子どもと高齢者の交流イベントは予算的に難しい現状がある
- ・子どもの方が多くて大変

○体験型で農家とコラボ「食育」地元農家でとれたレストランももっと増えると良い

- ・農地が多いと聞いて、子どもから大人までが、土に触れたり体験型のイベント（収穫、食育＋体を使う）があると良いと思った
- ・上作延では栗園、貸農園、自治会と農家が連携した取組がある

○アクセスを考えると、住宅地の方までバスがいかないのでデマンドバスがあれば良いのでは

ないか

- ・デマンドバスがあると住宅地の方まで行けて便利

○9:00～16:00 の開館時間が短い（老人いこいの家）

- ・こども文化センターは 21:00 までやっているが、老人いこいの家の開館時間は短いと思った

○図書館が近くにないので、図書機能を中心に若い人もつかいやすくなると良い

- ・図書館機能や若い人がつどえる場所になると良い

○単身者やこどもがいない人向けのサービスや居場所も必要

- ・子どもと高齢者ばかりで子どもがいない若い人向けのサービスがないので、そういう方向けの場所があると良い

○最近、運営が企業になって、考え方もガラッと変わり良い感じになった。他の施設もそうなりと良い

- ・運営は今良い感じ
- ・今後考え方が変わっていくと良い（他の施設も）

○働く人向けに仕事ができる環境があると良い

- ・働く人向けに仕事ができる環境があると良い
- ・コーヒーが飲めたりするのもいいな
- ・地域内がいい感じになると良い

【梶ヶ谷エリア】

参加していないエリアの成果を共有し、感想を出し合おう

エリアの将来像への感想

○農にふれあえる環境は大切

- ・農業や自然とふれあえる環境があるのは羨ましい
- ・子どもにとって農の体験は貴重
- ・このエリア内のみでいうと、実際農業はやっていない
- ・梶ヶ谷駅近くに梨狩りやいちご狩りができる農園がある

○歴史好きな人に地域の史跡を PR

- ・橘樹官衛遺跡群など、歴史好きな人に地域の史跡を PR する

○地域のブランディングは大切

- ・ブランディングは重要
- ・梶ヶ谷は水害の恐れもないしある意味安心

○公共施設に行くための交通の充実を

- ・車があれば坂も気にならないのでは
- ・将来は自動運転も普及するので老人でも OK なのでは？
- ・コミュニティバスもあると良い
- ・バスの充実が必要

「起点施設にあったらいいなと思う機能やニーズ」についての感想

○梶ヶ谷の中だけでなく広域的な視点で公共施設の利用を考えるとよい

- ・梶ヶ谷の中だけでなく、広域的な視点で公共施設の利用を考えていくことが重要
 - ・横浜市民ギャラリーは2年先まで予約がいっぱいらしい
- 活用のされ方も広域的に検討が必要

○公共施設を元気な高齢者が働ける場に

- ・60代はまだまだ元気！働ける場になると良い

○スポーツ教室を開催していくと良い

- ・地域子育て支援センターかじがやで子どものスポーツ教室を開催できるように
- ・親が子どものスポーツを見る機会もあまりない。子どもの才能に気づくかも

○働き世代で子どものいない人にとってもどのように利用していくか、魅力をどう感じてもらうかが大切

- ・子どもと老人の利用の意見が多く、子どものいない人を含め働き世代がどのように公共施設を利用していくかの意見がもっとあると良い。

○ネーミングも工夫して誰でも入れるように

- ・梶ヶ谷こども文化センターや地域子育て支援センターかじがやは、利用に空きがあるなら色々な世代に使ってもらった方が良い、子どもに限定しない

○梶ヶ谷こども文化センターと地域子育て支援センターかじがやは場所が近いのでひとつでも良いのでは？

- ・2つの施設はとても近いのでひとつでも良いのではないか

【溝口エリア（１・２班）】

参加していない成果を共有し、感想を出し合おう

エリアの将来像への感想

○もっと公園でコミュニケーションしたい

- ・公園など集まる場所が少ないので集まれる場所を
- ・多摩川があるので公園がおざなりなので川以外の場所に公園を

○コミュニティバスがあると良い

- ・コミュニティバスがあると良い
- ・大きい幹線道路は歩きにくい

○大山街道の魅力発信

- ・大山街道の魅力を発信できれば
- ・大山街道ツアーをすると良い

○駐輪場のことも考えて

- ・自転車が停められるところが増えると良い

○道の安全が確保されれば

- ・大山街道、緑道などは幅員が狭いので、まちを壊さないと道を作れないから悩む
- ・緑道は車通りを改善できれば
- ・大山街道はみこしが出たりパレードしたりできるが、普段は交通が安全ではない
- ・緑道を緑道と呼べない、交通安全上の不安あり
- ・街なかは歩行者優先とし、車は国道 246 号へ
- ・歩車分離をする際は車を優先して考えがちなので、安易に歩車分離を進めず歩行者のことを優先して考えて欲しい
- ・大山街道の駐車車両で歩きづらいので、車を使う人のマナー向上をしたい

「起点施設にあったらいいと思う機能やニーズ」についての感想

○移転時には高齢者への情報提供方法に注意

- ・移転の時はインターネットが使えない人にも配慮して情報発信して欲しい
- ・高齢の人々に使いづらくならないように

○男女共同参画センターの名前は変更したい

- ・男女共同参画センターという名前は一般利用不可のイメージがあるので他の名称に！
- ・男女共同参画センター～すくらむ 21 の名称は機能と名称がミスマッチである

- ・名称はもし変えるなら、すくらむ 21 を前面に

○すくらむ 21 には診療所機能やスタートアップ機能も

- ・高齢者が PC や新しいことを知る機能、例えば高齢者がデジタルスタートアップできる仕組みを
- ・すくらむ 21 にはお月さまカフェのような事業をやっているので、お月さまカフェに参加されている層向けのスタートアップの場に
- ・すくらむ 21 に診療所を

○機能が分かる名前を！

- ・名称では分かりづらいものも、機能が分かれば使える
- ・どういう機能があってどう使えるかをもっと周知できると良い
- ・コロナの時休日急患診療所は余り知られていなかったことから機能しなかった

○図書館が駅前にあるといいね

- ・図書館が駅前にあるのは良い

【溝口エリア（3・4班）】

参加していないエリアの成果を共有し、感想を出し合おう

エリアの将来像への感想

○利便性の良いエリアだが、外への流れがあると思う

- ・ 溝口エリアは、利便性は良いが外へ人が流れていく傾向がある

○ダンスをする若者が減ったように思う

- ・ ダンス練習に使われていた場所は、鏡が無くなってから使われなくなった

○人が集いやすい場所が少ない

- ・ 公園が少ない（トイレ有りの公園が少ない）→集まりにくい
- ・ こども会、老人会が少ない

○イベントをしやすい大きな公園がない

- ・ 人が集まる公園などが少ない
- ・ 大きな公園がない

○路上飲みなどを減らした方が良い

- ・ 路上飲みが多いのは課題だと思う

○安全に移動できるインフラ整備が十分でない

- ・ 下作延周辺の交通事故が多い（インフラ整備が不十分）

「起点施設にあったらいいと思う機能やニーズ」についての感想

○文化拠点が今は少ない

- ・ ギャラリー、音楽ホールが少ないから増やした方が良い

○駅チカの場所に文化拠点ができてほしい

- ・ 文化拠点があると良い
- ・ 図書館があると良い

○てくのかわさきの使い方を改善してほしい

- ・ すでに利用率が高いから他にスペースの確保
- ・ 建物の工夫が必要
- ・ 駅近の立地を生かして集客を目的として使うべきだと思う
- ・ 区の拠点にしてほしい！！
- ・ 発信力がないと思う

- ・用途を変えた方が良い

○すでに K S P（かながわサイエンスパーク）に県立図書館があるので図書館については十分ではないか

- ・すでに K S P（かながわサイエンスパーク）に県立図書館があるので図書館については十分ではないか

○施設名称を現代に合っていて、使い方が分かる名称に変更した方が良いと思う

- ・利用する機会がなかった
- ・現代にあった名前に
- ・使い方に応じた名称が必要

アイスブレイク

○これまでのワークショップを振り返って、今の感想

- ・今日は上作延グループだったが、他の地域では意見を出したいところもあった
- ・自分にゆかりのない地域だった
- ・また機会があれば参加したい

○これまでのワークショップでやったこと（カワタン、ペルソナ設定など含め）の感想

- ・全体的に、別々の意見が出ていても最終的には「多世代」などの共通する意見があった
- ・ワークショップで知った施設に行ってみた。知ることで施設に行きたくなる人が増えるという
- ・参加しやすいゲームなども取り入れた進め方がよかった
- ・聞こうとしてくれる姿勢がよかったと思う

トーク 1 公共施設を取り巻く現状を踏まえ、気づいたこと・感じたこと

○高齢化を身の周りで感じることはありますか？

- ・多摩川のマラソンなどに出ている高齢者も沢山いる一方で介護が必要な方もいる。一概に言えない多様な高齢化であると思う
- ・高齢者がマジョリティになっていると感じる
- ・少子化は、学校のクラス数が減っているという意味では感じる
- ・高齢化を感じるのは、自分が学校に通った頃は 17 クラスあったが、現在 6 クラスとなっているという現実から感じる
- ・建物の高齢化が進んでいると感じる。高度経済成長期に建った建物が古くなっている

○公共施設の老朽化や、あまり活用されていないなど感じることはありますか？

- ・図書館、スポーツセンターは古いが常に人がいて、活用されていないと思うことはなかったが、ワークショップに参加して意識していなかった施設が活用されていないと言うことに気づいた
- ・老人いこいの家などは老朽化していることを知っていたが、今回は知らない施設も多かった。もっと施設を周知してもらおうと良いと思った

○ワークショップに参加して、公共施設や地域の見方は変化しましたか？

- ・このワークショップで建物が古くなり利用が減っているということが分かった。スポーツセンターは人気でなかなか予約が取れないなどミスマッチが起きていると思った
- ・古い建物には変化がないのだと思った
- ・公共施設を利用することがなかったので、老朽化・未利用による課題に気づけなかった。スポーツセンターや図書館は人がたくさんいるので、ほかの施設の利用者が少ないということを知らなかった。なんとかしなければならないと思った
- ・家族にワークショップの話をした。公共施設を使う機会がなかった
- ・せっかく建屋と土地があるので、有効利用してほしい。溝口はポテンシャルが高いと思うので、例えば映画などは二子玉川に行かないと見られないが、そういったものをつくって税収を上げたらよいと思った

- ・皆さんの意見を聞いて「こういう感じだったのだな、高津区は」と思うことが多かった。自分は10年ぐらしか住んでいないので、公共施設と呼ばれるものがこんなにたくさんあると知らなかった。カワタンのゲームはとてもよかった
- ・ワークショップは高津区民祭でできればよかった
- ・公共施設がよりよく変わるとよいと思った。自分に関係ないところだと思わないで使っていきたいと思う

トーク2 公共施設の今後を考える中で、気づいたこと・感じたこと

○これまで出したアイデアの中で印象に残ったものや思い入れのあるものを教えてください

- ・最初から、カフェがあったり役所に気楽に入れるところがあったりするとよいという意見があった。しかし、区役所に食堂もあったが今はクローズしている。食堂などは利用者が少ないなら、ニーズに合わせて変化させていく必要もある
- ・生まれてからずっと高津に住んでいるが、農家があることを意識していなかった。都内などである地元農家が作った野菜を使うカフェなどがあるとよいと思った。子育て世代には「おしゃれ」「離乳食がある」がうける。美容系を気にする層には「おしゃれと健康」などのアプローチがある
- ・高津区の公共施設で高齢者が働ける環境があると良いという意見に共感した
- ・ブランディングという言葉が出ていたが、溝口のブランディングは農家・畑がある、高いところでは水害がないなど、アピールできるところがたくさんある
- ・建物ではないが、交通において安全に歩けないと思うので、交通安全の視点も必要であると思った

○本日の第一部の成果をみて、使い方・ニーズについての感想で印象に残ったもの・共感したものは？

- ・多世代で使っていこうというニーズはどこのエリアでも出ていた
- ・子ども食堂で使ったり、マルシェを開いたりしているという地域もあると聞いて良いと思った
- ・キッザニアのアイデアが出ていた。他の地域からも呼べるのではないかというアイデアがあった。農業、畑があるエリアでそういったものを用意するというのも良いと思った

○公共施設の可能性・ポテンシャルをどのように感じたか、どのあたりに感じましたか？

- ・カワタンをやったことや、既存公共施設が老朽化していることから、統廃合でスリム化することが自分の中では前提条件で意見を言った
- ・休日診療所を平日のみの利用の小中学校に入れる案や、すくらむ21は現時点での男女共同参画の状況を踏まえ、高津市民館に統合するなど、いちど機能をリセットすることで可能性が生まれると思う
- ・マルイの上の市民センターがあまり使われていないので、ブレイキンに解放したり、カフェ利用したりすることから始めて、その先にキッザニア、マルシェ、カフェ、テレワークなどに広げて多世代が使えるようになると良いと思った
- ・こども文化センターと老人いこいの家は同じ建物の1階と2階だが、運営者が違うので繋がりが無いと知った。縦割りをなくすと良い